

侵入を警戒したいタバコナジラミには異なるタイプがある

福島県農業総合センター 生産環境部
平成18年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

野菜 - トマト - 病害虫発生
分類コード 03-04-22000000

2 担当者

堀越紀夫・松木伸浩

3 要旨

タバコナジラミは、バイオタイプにより寄主植物や薬剤感受性が異なることが知られているが、形態からは判別ができない。そこでPCR-RFLP法により県内で発生したタバコナジラミのバイオタイプを確認した。

- (1) 県内のトマト栽培6圃場、ナス、イチゴ、ガーベラ、パンジー栽培各1圃場から、防除所によりサンプリングされたタバコナジラミのバイオタイプを、上田のPCR-RFLP法による簡易判別法で確認した。
- (2) そのうち、トマト栽培6圃場、ナス、イチゴ、ガーベラ栽培各1圃場でタバコナジラミバイオタイプQの発生を確認した。
- (3) パンジー栽培圃場からサンプリングされたものはタバコナジラミバイオタイプBであった。
- (4) タバコナジラミバイオタイプQがサンプリングされた市町村は、いわき市、南相馬市、郡山市、双葉町であった。
- (5) 今後は、薬剤感受性試験を実施し、県内での拡散を防ぐ必要がある。また、トマト黄化葉巻病Virus (TYLCV) の侵入を警戒しなければならない。

4 その他の資料等

農林害虫防除研究会報告(11号) 2006.